

2015年3月12日

東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所
小林 正俊 所長 殿

上之町環境を守る会
西ヶ谷ハイツ道路委員会

家屋事前調査等に係る質問事項

3月5日に上郷地区工事長が南線工事着手に伴う家屋事前調査を行いたいので、ご協力をお願いする旨の案内文書の案文を持参されました。

現時点において上郷地区家屋事前調査等について下記の通り質問がありますので、3月27日(金)10時から行われるNEXCOと上之町環境を守る会との会合の席にて、書面をもってご回答くださるようお願いいたします。

なお、家屋事前調査実施につきましては、私どもは拒否するものではなく、私たちの疑問、不安等が解消された後に受けることを申し添えます。

記

1. 調査範囲は、工事予定地点から両端20mの範囲ということだが、20mの根拠は何か。また、どこから測って20mなのか。20mを越えた所では被害は起きないという確証はあるのか。もし20mを越えたところで、実際に被害が出た時にはどのように対処するのか。
2. 集合住宅は、基本的に全棟共有部分があることから、建設予定道路の前面だけの話ではなく全棟の問題であり、家屋調査を前面隣接棟に限るのは疑問である。
3. 入札説明書に
家屋事前調査 木造建物 44棟
非木造建物 4棟
区分所有権の建物 73戸
とあるが、具体的にどの建物を指すのか示してほしい。
4. NEXCOは市道上郷公田線と立坑の高さ問題で、横浜市や当該地域住民と現在も協議中であり、上郷公田線の詳細設計も出来ていない状況と聞いているが、上郷公田線と南線の問題が解決するまで、家屋事前調査を行うべきでない。また住民全体への説明会開催も同様である。

また、このような住民に直接関係する入札を行う場合地元の意見を何も聞かないで公告するのは住民を無視したやり方であり、納得できないので、今後の工事等に係る入札公告は事前に工事等内容を説明してもらいたい。

5. 立坑工事をするにあたって、西ヶ谷1・13号棟前の山を崩す時期はいつ頃か。小さな山ではあるが、地域の住民にとって大切は環境である。春にはサクラの花が咲き、ウグイスが鳴く。初夏にはカジイチゴやアキグミの甘い香りを楽しんでいる。上之町、西ヶ谷ハイツの住民は小さな山の四季を毎年楽しんでいる。崩す前にこの山と遊水池の生態系調査を行い、記録に残しことを要求する。
6. 住民にとって地盤沈下問題が最も心配である。

立坑掘削の場所（1号棟と13号棟の境）は、平成8年9月国土地理院発行の「都市圏活断層図」によれば沖積低地であり、平成20年横浜市調査の「横浜市宅地造成調査」の盛土図とも一致する。つまり100年前の川跡である。そのような場所に立坑設置をする是非について納得がいくまで丁寧に説明してほしい。

3月8日フジテレビで放映されていたが、阪神淡路大震災の時に倒壊した新幹線・高速道路の橋脚は2500年前の川跡に建てられていたという研究成果が放映されていた。（立命館大学環境考古学 高橋 学教授）
7. 上記の不安を解消するため、26年8月に行ったボーリング調査・地下水位計の結果を公表すべきである。
8. 住民が想像している以上の大型の重機を投入し、騒音・振動もかなり出る工事と聞いているが、振動及び騒音（dB）程度はどのくらいか。住民立ち合いで、工事開始前の環境騒音等の調査はいつ、どのようにして行うのか日程を示してほしい。受忍限度を超えた時の対処法はどう考えているか。どのような機材・車両が何台はいるのかを示してほしい。
9. 強制収用手続きの途中で結論も出ていない現在、「本工事」の一部である立坑工事を開始して良いのか？
10. 神戸橋周辺は、立坑工事、西ヶ谷交差点迂回路工事、遊水池の嵩上げ、よう壁工事等いくつかの工事が一度に行われる地域である。地域住民に全体の工事工程を先ず示し、そして工事全体像を丁寧に説明する必要があると思うが、如何か。

以上